

町づくり検討委員会

1 目的・方法

自律に向けた町づくり報告書の策定及び職員がたたき台として作成した中間報告の内容について、町民の皆さんと一緒に検討するため、「自律に向けた町づくり検討委員」を公募しました。

委員の皆さんからは広くご意見、ご提言を賜り、町づくり計画に反映、参考にさせていただきました。

2 組織

公募及び分野別自律推進チームの推薦により、55名の町民検討委員を選任し、11の分野別チームに5人ずつ所属していただきました。

3 期間

平成16年8月5日～平成16年12月31日

4 検討方法

11の分野別自律推進チームに分かれて、月2～3回夜間に2時間程度職員と一緒に将来の町づくりについて具体的に議論を行いました。また、チームから町民代表者1名を選任し、自律施策調整会議に出席いただき、町づくり計画の総合調整を行いました。

〈自律に向けた町づくり検討委員名簿(順不同・敬称略)〉

チーム名	氏名	備考	チーム名	氏名	備考	チーム名	氏名	備考
生活環境	布施 剛		保育教育	中熊 弘隆		新行政システム	大口 善広	
	内山 一良			粉川 悦子			恩田 テルミ	
	池田 益男	○		河合 尚			恩田 稔	○
	涌井 光男			林 トシ子	○		桑原 百合枝	
	風巻 春夫			鈴木 延枝			桑原 裕行	
定住基盤	桑原 宗一郎	○	文化学習	小柴 健一		※○印は町づくり検討委員代表者  		
	橋野 弘之			関谷 初美				
	大平 政栄			大澤 隆	○			
	恩田 輝次			志賀 直哉				
富澤 明美		江村 美智代						
農林水産	恩田 卓茂		健康保健	村山 まさ子	○			
	宮澤 清	○		山田 麗艶				
	中沢 伸子			丸山 直子				
	滝沢 完治			津端 厚子				
上村 芳男		大平 典子						
商工雇用	風巻 宏	○	地域医療	島田 哲宏				
	籠田 定俊			金子 ヤス				
	風巻 由利江			山田 龍一	○			
	森口 恵子			久保田 晋介				
江村 かおる		石橋 玲子						
観光リゾート	小林 幸一		社会福祉	瀧澤 英男				
	滝沢 龍一	○		藤ノ木 吉久	○			
	内山 義幸			小木 曾茂子				
	上村 光夫			宮沢 和男				
藤ノ木 正人		樋口 まさみ						

自律に向けた独自の取り組み

津南町議会

津南町議会は、二つの常任委員会（総文福祉常任委員会・産業建設常任委員会）で、自律に向けた町づくりについて検討し、町に提言しました。

総文福祉常任委員会		委員長:草津進 副委員長:藤ノ木富有 委員:樋口松雄、根津勝幸、藤ノ木浩子、大平玄三、伊林康男、津端眞一
生活環境	克雪	(1)冬期保安要員制度の代替制度の創設と、集落・地域単位の互助組織の体制整備 (2)役場職員の地域(地区)担当制を設け、住民、行政一体となって地域課題に対処 (3)高齢者・1人暮らし世帯の冬期間住居確保、集合住宅も考慮した複合的な「総合福祉センター(仮称)」の早期建設
	交通網	(1)公共交通、スクールバス、福祉バスを一体的に運行する交通体系の整備
	公共住宅整備	(1)空公共施設の利用と公共住宅も考慮した複合的な「総合福祉センター(仮称)」建設
保育教育	防災	(1)集落ごとの防災連絡組織、避難場所設定と周知徹底。集落ごとの避難訓練実施 (2)職員の地区担当制による状況把握、指示・伝達体制の整備 (3)ボランティア窓口の一体化、ボランティアセンターの設置 (4)広報無線の維持管理の継続
	幼児保育	(1)子育て支援センター、一時預かり等の役割を担う多機能な保育園整備 (2)病後児・一時預かり、自由保育等、地域の子育てに関する相談体制づくり
	学校教育	(1)教育長の常勤化及び「津南町学校教育研究会(仮称)」を設置し、統合問題等検討
	生涯学習	(1)「なじよもん」への交通アクセス確保、歴史文化財マップの作成、貸し自転車の設置
健康保健	母子保健	(1)食育の強化と児童・生徒の発達段階に応じた健康教育の推進
	健康づくり	(1)津南病院と連携し生活習慣病予防、クアハウストレーニングルームの有効活用
地域医療	津南病院	(1)自分でする治療等患者が自宅で療養する在宅医療の充実 (2)予防医療の充実と終末期医療も担う病院 (3)午後診療の体制整備
	広域圏	(1)地域中核病院(県立十日町病院)との連携強化と中核病院の機能充実 (2)県立十日町病院の新築移転要請、十日町病院までの公共交通確保
社会福祉	地域福祉	(1)ボランティアセンター、老人・障害者等憩いの場、福祉アパート、集合住宅、子育て支援センター等複合的な「総合福祉センター(仮称)」建設
	老人福祉	(1)配食サービスの民間での取り組み推進
	障害者福祉	(1)ガイドヘルパー、移送サービス、デイサービス等のサービス拡大 (2)NPO法人設立の助言指導
新行政	住民サービス	(1)すぐやる班(担当)を設置し、苦情要望に即対応可能な体制整備

産業建設常任委員会

委員長:吉野 徹 副委員長:大平謙一
委員:大口 武、島田福一、五十嵐英教、河田強一、富沢春江、涌井幸一、村山久一

生活環境 **集 落 維 持**
(1)高齢化集落には、年間を通して「福祉保安要員(仮称)」を設置し、集落維持、住民の暮らしを支援
(2)要援護世帯の除雪支援は、集落での解決を目指す。

定住基盤 **下水道**
(1)下水道つなぎ込み促進(環境改善の必要性、改良資金の指導、説明)
(2)高齢者世帯に対しては、町長裁量による加入金、使用料金の軽減

農林水産 **稲 作 振 興**
(1)農家の意識改革、意識統一を啓発し、魚沼米の品質維持
(2)食味による価格差の検討及び品質向上指導

農 業 経 営
(1)農地集積による中核農家育成(ただし、無理には進めない。)
(2)家族的農業経営への対応

後継者 育 成
(1)新規就農者のみならず既存農家後継者への補助、育成

林 業
(1)森林資源の地方独自財源としての活用、主張(自然環境税等)

商 工 雇 用 **雇 用 大**
(1)地場産業、農林製品の加工、販売による雇用の増大

企 業 誘 致
(1)100メガビット以上のイントラネット等の通信、情報インフラ整備によるベンチャー企業誘致・育成

観 光 **観 光 宣 伝**
(1)観光地に来たと認識させる観光看板の設置、観光地と思わせる標識への見直し
(2)県のアンテナショップ、催事などの活用
(3)津南町出身者の町外在住者、津南郷会への宣伝委託等、協力者の育成



津南中学校

津南中学校3年生(114人)は、町の自律方針を受け、総合学習で「自律に向けた町づくり提言書」の作成に取り組みました。

分野別自律推進チームリーダーとの意見交換、町内に出での情報収集等を行い、生徒一人ひとりがレポートにまとめ、町長に提言しました。

津南の将来を背負って立つ少年、少女がずっと津南を好きでいてくれるような町づくりをすすめていかなければなりません。

1 経過

期 日	内 容
H16.9.24	自律推進室が津南中学校で3年生を対象に、新生津南町「自律に向けた町づくり中間報告書」の内容を説明
H16.12.1	3年生による自律に関する勉強会がチームごとに行われ、自律推進リーダーが参加
H16.12.21	生徒の代表が自律に向けた町づくりについて、自分の提言を発表。町長、助役、収入役、教育長、自律推進リーダー、自律推進班が参加

2 提言内容

中学生が提言した内容についても、各チームで検討し、報告書の内容に織り込みました。

生活環境

私の提言



- ごみ分別を今より細かくし、リサイクルを推進すれば、ごみの増加をおさえることができます。
- 暗くて危険な場所に街灯を設置すれば、交通事故や犯罪などが起こりにくくなります。
- バスの運行回数を増やしてほしいです。
- 消雪パイプが設置されていない場所があるので、整備が必要です。
- 道路を広くすることによって、安全に通行できるようになり、また除雪も容易になります。
- 除雪などの雪対策をきちんとすれば、もっと住みやすくなります。

定住基盤

私の提言



- 光ファイバーを布設すれば、より早く情報を見たり、伝えたりできます。
- 津南小から外丸小へ橋を新設すれば、外丸や三箇の子どもが津南小へ通学することが容易になります。
- いろいろな運動ができるスポーツ施設があれば若い人からお年寄りまで楽しむことができ、みんなが健康になります。

農林水産

私の提言



- 農業の良いところだけでなく、欠点を調査、改善し、町に住んでいる若い人たちに農業を広め、もっと農業が活発な町にしたいです。
- 雪味にんじんをもっとアピールすれば、町が有名になります。また、雪味にんじんを使った料理を作って商品化したり、インターネットで紹介したりすればよいと思います。
- 作物の高品質化、減農薬作物の生産により、買い手も増え、収入増加につながります。
- その土地にあった新品種の開発をすれば、収入及び観光客増加につながります。

商工雇用

私の提言



- 新しい特産物、特産品の開発、また、にんじん、こしひかり、カサブランカ等、津南ブランドのインターネット販売を行うことによって、農業、商店街の活性化が図られ、町の知名度を高めることができます。
- リサイクル市が活発に行われれば、資源の無駄使いが減り、町内で買い物をする人も増えていきます。
- 町のイメージキャラクターやイラストを考案し、商品に活用していけば、町を知ってもらえます。
- 大規模なショッピングセンターが必要です。
- 高速交通体系を整備し、大きな企業を誘致すれば過疎化がおさまります。

文化学習

私の提言



- 高校で行う部活動の練習をスポーツ少年団で指導してもらえれば、町から優秀な選手が生まれます。
- 陸上競技場や町民が利用しやすいスポーツ施設を作れば活気のある町になります。
- サッカー場やバスケットコートを作ればレベルアップにつながります。
- スキー場ゲレンデを増やせば客も増えます。
- 町の伝統工芸品や技術をもっと町外へPRすれば、町の魅力を知ってもらえるチャンスになるとともに、お年寄りの仕事も増え、高齢化社会に対応します。
- なじよんを利用し、文化交流に土器発掘等を取り入れ、縄文時代を体験させれば良いと思います。

観光リゾート

私の提言



- 自然を生かしたイベントを開催すれば観光客も増え、町が発展していきます。
- 小学校、保育園等に「津南探検クラブ」を作り、町の良いところをホームページで紹介、宣伝すれば、観光客が増えています。
- 町民の意見を取り入れた観光マップを作成すれば、「津南に行きたい」、「もう一度行きたい」と思うようになります。
- 観光施設をもっと増やせば観光客がきます。
- 動物と触れ合えるような施設を作れば観光客がもっと増加します。
- 自然、食物を生かした農業体験をすればもっと魅力的な町になります。
- ひまわり畑に公園を作ればよいと思います。

社会福祉

私の提言



- バリアフリーを充実すればお年寄りにも暮らしやすい町になります。
- 高齢者と交流できる場所を作れば、人も来るようになります。
- 階段をなくしスロープにしたり、段差をなくしたり、点字ブロックを増やしていけば、目の不自由な方やお年寄りが安全、安心して町を歩けるようになり、交流も増え、住みよい町になります。
- 老人ホームなどに入居しているお年寄りの人が参加できるイベントを増やしたり、楽しく生活できるようにすればもっと魅力的な町になります。

保育教育

私の提言



- 児童館は新築せずに、保育園を児童館として使えるようにすれば、いろいろな地域にあって、家からも近く利用者が増えます。
- 児童館と保育園を一緒にすれば、年代も幅広くなり、子どもたちの輪も広がります。
- 保育園に保護者の意見を取り入れ、いろいろな設備ができていけば、もっと安心して子どもたちを預けることができます。
- 子どもを楽しませる行事を作っていけば、子どもの教育にも良いと思います。

健康保健・地域医療

私の提言



- 秋山郷にどんな小さなことでも相談に行けるような診療所を作れば、秋山郷に住んでいる人の通院も楽になります。
- 津南病院に往診の制度や皮膚科を設ければ、町民の健康を維持でき、また、町外の医療機関に行っていた人も津南病院へ来るようになります。

提言を通して、子どもたちが津南を愛していること、これからのふるさとへのあり方について身近に感じていることが伝わってきました。課題を真摯に受け止め、今後の町づくりに活かしていきます。
津南中3年生の皆さん及び生徒をご指導いただいた先生に心から感謝申し上げます。